

盛永 審一郎 特任教授

文学修士

Shinichiro Morinaga

✉ shinichiro.morinaga@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

人間の尊厳・責任・交わり・実存

プロフィール

1975年3月 東北大学大学院文学研究科博士課程中退
 1989年10月 富山医科薬科大学助教授(薬学部)
 2002年10月 富山医科薬科大学教授(薬学部)
 2005年10月 富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)教授
 2014年3月 富山大学退職・同名誉教授(現在に至る)
 2014年4月 福井大学医学部客員教授(2016年3月まで)
 2022年4月 公立小松大学大学院特任教授

研究分野

倫理学・応用倫理学

所属学会

日本生命倫理学会・日本医学哲学倫理学会・東北哲学会

専門分野・研究分野

新しい倫理——心情倫理から責任倫理へ

倫理学とは、ソクラテス以来「善さ」とは何かを探求し、基礎づける学問である。カントに代表される近代の倫理学は「今とここ」の倫理学だった。顔と顔を向い合せる、空間と時間を共有する人間の倫理学だった。そこでの定言命法は、「自律的であれ」で、行為の動機を問う「心情倫理」だった。しかし科学技術を手にして行為する現代人は、地球的規模と遠い未来世代を射程距離にしている。しかも集团的規模でそのことを行う。だから、行為の結果を予見し、その結果に対して責任がある。この新しい倫理の定言命法は、「持続的であれ」であり、「責任倫理」である。私の研究分野は後者です。

研究内容

応用倫理学の諸問題を「人間の尊厳」概念を核に解明

- ①終末期医療 オランダ安楽死の法・倫理・制度について考察し、オランダ安楽死は、ヨーロッパ人権条約の3条の尊厳の侵害と8条の私生活を尊重される権利から基礎づけられること、2条の脆弱な生の保護と両立可能であるということ、さらにヨーロッパ生命倫理の4原則の「統合体」「自律」「尊厳」に基礎づけられていること、そして背後にヨーロッパ2000年の歴史において開花した『人格』概念があるということを解明した。
- ②生殖補助医療 「人間の尊厳」という概念を軸に、人受精卵に対する診断と研究利用に関する生命倫理地図を描いた。Ⅰ) 尊厳概念の批判、Ⅱ) 両立可能テーゼ、a) 外延的戦略、b) 内包的戦略、Ⅲ) 両立不可能テーゼについてそれぞれ論じ、その結果として胚は現実的人間でないとしても、潜在的に人間であり、現実的権利で保護されるということ、Ⅳ) 疑わしい場合は胚の利益のために』を論証した。
- ③ Sustainability の哲学的基礎付けとしての H・ヨナス哲学研究。「なし得る」から「なすべきである」を導出する過程を解明。



ハーダマール精神病院墓地の碑「人間よ！人間を尊重せよ」



「持続可能性」の哲学的基礎付け

シーズ・地域連携テーマ例

- 終末期医療・生殖医療などの生命倫理の諸問題
- 技術者倫理・環境倫理の諸問題

受賞

- 2018年10月 日本医学哲学倫理学会 第12回学会賞

論文

- オランダ認知症患者の安楽死事件——最高裁へ上訴、生きる権利か、死ぬ権利か——, 盛永審一郎, 理想707, 18, 34, 2020, 07
- 遺伝子操作と人間の尊厳, 盛永審一郎, 周産期医学6月号, 889-891, 2020, 06
- Die aktuelle Debatte über Forschung an menschlichen Embryonen und Menschenwürde aus japanischer Perspektive, Shinichiro Morinaga, Zeitschrift für Medizinische Ethik, 57Heft1, 39-52, 2011, 02.

書籍等出版物

- 安楽死を考えるために 思いやりモデルとリベラルモデルの各国比較, 盛永審一郎, 丸善出版, 2023年11月
- 認知症患者安楽死裁判 事前意思表示書「いま」の意, 盛永審一郎, 丸善出版, 2020年12月
- 人受精卵と人間の尊厳—診断と研究利用, 盛永審一郎, リベラタス出版, 2017年07月
- 安楽死法: ベネルクス3国の比較と資料, 盛永審一郎監修, 東信堂, 2016年05月
- ハンス・ヨナス『回想記』, 盛永審一郎他訳, 東信堂, 2010年10月
- ハンス・ヨナス『責任という原理』, 加藤尚武監訳・盛永審一郎他訳, 東信堂, 2000年05月
- カール・ヤスパース『真理について4』, 上妻精・盛永審一郎訳, 理想社, 1997年05月

講演・口頭発表等

- 生殖細胞研究—身体倫理と生資本主義の精神、盛永審一郎, 実存思想協会第27回大会; 2011.06.25
- Über den Begriff "Verbrechen gegen die Menschheit"—Karl Jaspers und Hannah Arendt, 盛永審一郎, 第23回世界哲学会議; 2013.08.08

競争的資金等の研究課題

- 世界における終末期の意思決定に関する原理・法・文献の批判的研究とガイドライン作成 科学研究費補助金(基盤研究B), 2011~14
- オランダ・ベルギー・ルクセンブルクの安楽死法の比較的研究, ファイザーヘルスリサーチ財団, 第20回2011年度国際共同研究助成

社会貢献活動

- 放送大学富山学習センター 客員教授 (2001~2009)
- レギュラトリーサイエンス学会理事 (2010~2016)
- JBpressコラムニスト (2019~現在)